

ストップ!! 子ども虐待 見すごすな 幼い子どもの SOS

11月は

「児童虐待防止推進月間」

この月間は、子ども虐待についての理解をより一層深め、自主的な関わりをもっていただくための意識啓発を図ることを目的に、6年前に定められたものです。

ひとりで、また一つの機関では、子どもを虐待から守ることはできません。市民の皆さんも子どもを虐待から守るためにご協力をお願いします。



見すごすな
幼い子どもの
SOS

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときやご自身が虐待や子育てに悩んだときには、児童相談所や市町村の窓口へ連絡してください。
虐待と想ったらずきお電話を

0570-064-000

児童虐待問題は社会全体で解決しなければならぬ重要な課題です。
11月は児童虐待防止推進月間です。



見逃さないでたすけてサイン

虐待や、不適切な関わりを受けている子どもたちは、少なからず何らかのサインを出しています。この虐待のサインこそが援助を求める「子どもの声」であり、気づいたあなたからの通告が頼りなのです。

「子どもからのサイン」

- 不自然なあざ・やけど
- 衣服やからだの不潔
- 無表情、大人をおびえる
- 落ち着きがない、乱暴

「保護者からのサイン」

- 子どもを家に置いたままよく外出する
- いつもイライラして子どもに当たる
- 地域で孤立している
- 子どもの健康や安全への配慮がされてない



その一本の電話が
子どもを救います

虐待を疑ったら、まずは左記の連絡先あるいは地域の児童委員（民生委員）さんに連絡してください。電話で匿名でもかまいません。たとえ間違っていたとしても、あなたが責められることはありません。もちろん、通告した人のプライバシーは守られます。



オレンジリボンを身につけよう

オレンジリボンには、児童虐待の現状を広く知らせ、子どもを虐待から守り、虐待を受けた子どもが幸福になれるように、という気持ちがかめられています。



相談
(通告) 先

子ども家庭相談課 ☎(25) 85117 または市内各保健センター
滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎077(562) 1121

市長の手帳

日常生活での障壁を取り除いています



スポーツの秋にふさわしく、市内の各地で運動会や各種レクリエーション大会が行われています。その中の一つで、今年で第32回を迎える「高島市身体障害者スポーツ大会」が新旭体育館で行われましたのでお邪魔しました。当日は、暑いほどの好天に恵まれ、参加された皆さんは、それぞれが良い汗を流しながら競技を楽しんでおられました。

市内には、何らかの障がいを抱えつつも、それを乗り越え頑張っている方がたくさんおられます。また、市内には、そうした方々を支えるための施設や機関があり、居宅での生活や通所、入所、また相談事業などを含め、支援の体制を整

えています。

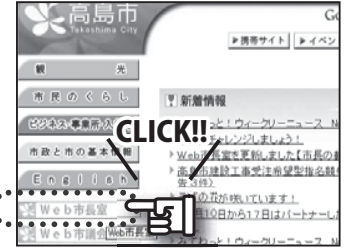
これに加え、市では市民の皆さんにとって、日常生活の不便を少しでも無くすために、道路・歩道のバリアフリー化や、湖西線駅へのエレベーター設置を県やJRに要望するとともに、その整備を進めています。

駅のエレベーター設置については、現在、近江今津駅と安曇川駅の2駅のみですが、改築工事が進む公立高島総合病院の開院に合わせ、近江高島駅にもエレベーターが設置できるようになりました。

また、他の3つの駅についても、エレベーターが早期に設置できるよう、引き続きがんばってまいります。



ホームページで市長の活動を報告しています。
高島市ホームページから「web市長室」をご覧ください。



子育て講座、カウンセリングの事例から見えてきたもの
『子育てで悩んでいるあなたへ』



講師紹介 小林清八郎氏

県内小学校校長、教育支援センター所長、長浜市立教育研究所所長を歴任され、現在は龍谷大学非常勤講師。
1985年（昭和60年）に文部省の「カウンセリング講座」を受講されて以来、カウンセリングの勉強を続けられ、現在も不登校をはじめ、さまざまな課題を持つ子どもたちや保護者との教育相談にあたっておられます。

日時 12月1日（水）

10時20分～正午

※10時受付開始

場所 安曇川ふれあいセンター

対 象 ふじのきホール

参加費 子育てに関心のある方

申込期限 11月30日（火）

問・申子育て支援課
☎(25) 8136
各子育て支援センター